

なかよし

とんぼつちゅうぶしょうがっこう
天童中部小学校

いちょうがくじゅうだより
いちょう学級だより

R4. 5. 23

No. 5

自分だけでなく誰かと一緒に

先日いちょう学級で苗を買いに行きました。2～6年生の子供たちが事前に何をかうか話し合い、決められた予算の中で買い物をしてきました。その一連の学習の中での6年生の子供たちの姿について紹介します。

6年生は畑を耕すところから始めました。土を掘るくわやスコップを持って「これの使い方知ってる！」と上手に扱っている子もいれば、「全然できない！どうやればいいの！」と苦戦している子もいました。時間がたってくるとほとんどの子から「もう疲れたー。」などの声が上がってきましたが、最後までやりきり、立派な畝のある畑を作ることができました。こちらから何も言わなくても自分たちで協力し、困っている友達には教えてあげ、どんどん進めていく姿に最高学年としての頼もしさを感じました。

この学習の中でAさんが「俺この大玉トマト欲しいのに一人330円までなら買えないじゃん。」と言っていました。少し気分を悪くしてからしばらくすると「あ！そうだ！俺とB君の分の330円を合わせたら、これ買えるじゃん。」と閃いたかのようにBさんに伝えました。それを聞いたBさんも「確かに！それで余ったお金で何か買えるかも。」と二人で他に何が買えるのかを楽しそうに話し合っていました。これまでのAさんだったら「もういいよ。」と投げ出してしまっていたかもしれません。しかし自分だけでなく「誰かと一緒にならできる」という考えで、納得できる方法にたどり着くことができました。これから先、自分だけではどうにもならないこと、うまくいかないことでも誰かと協力したり誰かの手を借りたりすることは大切だと思います。Aさんは納得のいく買い物ができるようで、毎日苗のことを気にして水をあげたり様子を見に行ったりしています。美味しいトマトの成長も、Aさんの更なる成長も願ってこれからも過ごしていきたいと思います。



※「山形大学附属特別支援学校中学部 生徒募集要項とオープンスクールの案内」と「山形県立楯岡特別支援学校の学校公開案内」が来ています。詳細について知りたい方は、今月中に学校へお知らせください。